



# 認証器レジストリの運用検討

2022年1月18日  
国立情報学研究所

## 目的

- ▶ 認証器レジストリを運用するにあたり、負担感を評価する → 認証器レジストリの運用の実現性を評価する



# 業務検討

## 業務

- ▶ 大雑把には以下のとおり
  - ▶ 認証器が学認 AAL-approved かどうかを判定し、結果を公開する(管理する)

## 業務の流れ

- ▶ 対象とする認証器は？
  - ▶ 認証器提供元から: LoA と同様のフローにのる(審査申請等)
  - ▶ 認証器レジストリ運用局(仮称)から:
- ▶ 認証器の審査
  - ▶ 基準に照らして審査する(assessor による checklist があるとよさそう。expert が適任)
    - ▶ ○判定と根拠を明記(たいへん。評価基準にもよる)
  - ▶ 審査内容を査読し判定する(そこそこ expert でも OK?)
    - ▶ 審査結果を査読(その根拠に疑義が生じた場合、審査員に照会?)
  - ▶ どのように authorize する→運用作業部会
- ▶ 認証器の結果公開
  - ▶ Web ? (合格のみ掲載)



# 技術的内容

---

## 前提

- ▶ 学認 AAL-approved な基準は作業部会で策定されたものがあること:
- ▶ KIAF-1440



GakuNin

# 事務的内容

---

- ▶ 審査申請手続き



## 必要な要員数

- ▶ 技術：2名（審査1名、査読1名）
  - ▶ 立ち上げはともに NII で。学術認証推進室メンバから
  - ▶ ノウハウが溜まれば、運用作業部会員の方々に査読依頼を
- ▶ 事務：1名（窓口業務、当該ページ管理などの簡単なサイト管理業務）



## 短期計画

---

### ▶ R3年度

- ▶ 要件整理から...
- ▶ AAL 評価基準の策定 ← 次世代作業部会で
  - ▶ チェックリスト作成? ← NII(よく知られている認証器を想定しつつ固めていく)
    - いつ頃できるか? (直ぐにはできない)

### ▶ R4年度

- ▶ スモールスタート体制整備
- ▶ 技術2名、事務1名(学術認証推進室から)

### ▶ R5年度以降

- ▶ 技術1名、事務1名(学術認証推進室から)、査読1名(運用作業部会から)